

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和4年5月12日（木） 開会；18時30分・閉会：19時30分	
開催場所	行田市産業文化会館管理棟 2A会議室	
出席者（委員）氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、淵上通子、村上万里子、川島 治	
欠席者（委員）氏名	栗原 肇、千島万里江、江袋文紀、大山恵巳、吉岡隆秀、	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. メンバー自己紹介 2. 患者情報共有ツール「わたしの人生ファイル」の普及と活用について 3. MCSの普及と活用について 	
会議資料	(資料名・概要等) ICT/患者情報共有部会資料	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
4年6月9日	藤井尚子 上村 勇 樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
川島会長	<p>【開会】18：30</p> <p>あいさつ</p> <p>子宮頸がんワクチンの啓発</p> <p>【議題】</p> <p>1. メンバー自己紹介</p> <p>新メンバー 上村勇樹様</p> <p>メンバー全員による自己紹介</p>
藤井委員 各委員	<p>2. 議題</p> <p>(1)患者情報共有ツール「わたしの人生ファイル」の普及と活用について</p> <p>令和3年度は市民向け講座で多数配布しているが、実際に活用している場面が少ない。まずは、専門職に活用のイメージ、理解が必要。研修部会との連携をしていく必要がある。</p>
松原委員	<p>・各職種の意見・・・「私の人生ファイル」の活用場面について</p> <p>医師：具合が悪くなる前で、かかりつけ医の往診等が始まる前には活用が始まると良い。受診時に活用したい。</p> <p>ご本人や家族がどのように考えているか知ることができ</p> <p>る。</p>
石島委員 上村委員	<p>ケアマネ：初回アセスメント時に、活用したい。実態調査のときに、家族が一緒に書くのも良い。情報共有のために。</p> <p>看護師：サービズ開始時にあると良い。他職種との連携時、注意点を伝えたいときに、連携ツールとしても活用できる。</p> <p>自分の職が知らない場面での様子を知ることができる。</p> <p>また、本人の意向確認ができる。</p>
村上委員	<p>病院地域連携室：入院前にあるとよい。救急搬送や入院時に患者</p>

<p>小沼委員</p>	<p>像を知ること活用したい。また、本人が意思表示のできるデザイナーサービスに通っている段階等で記入しておく と良い。</p> <p>歯科：元気なうちでないと書くことができない。終末期になると、本人も家族も余裕がなくなる。介護保険サービスの開始時あたりにファイルを知って、記入するとよい。</p> <p>終末期の変化のときには、手に取って目を通すことは難しいと思う。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>入所施設：入所時に活用したい。自宅にいるときに、どのように過ごし、どのような方が関係していたかが分かる。</p> <p>・ファイルの配布についての整理</p> <p>地域包括支援センターが配布窓口。</p> <p>居宅介護支援事業所のケアマネも地域包括支援センターに連絡を入れ、地域包括支援センターが本人に、使い方を説明して渡している。</p> <p>・普及について</p> <p>市報、広報「行田人」への掲載など様々な機会を捉えて周知する。</p> <p>講義等で使用のメリットを伝えることの説明も必要。</p> <p>専門職への普及を中心に考えてきたが、その方法の転換も必要。市民側からの普及、民生委員への説明などの方法も考える必要がある。</p> <p>研修部会、普及啓発部会との連携が必要。</p> <p>・その他</p> <p>在宅医療・介護連携推進協議会を開催して、共通の認識、普及啓発、活用について一致させていくことも必要。</p> <p>(以降の議題は次回への持ち越しとなる。)</p>
<p>【閉会】 19:30</p>	